

你好

42号

中国語を学ぶ会

2022年3月 第42号発行

連絡先 久保田 080-1208-4810

「中国語を学ぶ会」2022年

2020年1月に発生した新型コロナウイルス(COVID-19)は従来の生活スタイルを一変させ今では“マスク・手洗い・三密回避”が日常化した。当会も授業は一時やむを得ず休講措置の期間もありましたがなんとか継続できました。しかし、会員間の貴重な交流機会として実施されてきた“総会・餃子の会”・“研修旅行”・“忘年会”等の全体行事が遂行困難になった事は誠に残念です。また、昨年11月23日に前会長の渡邊敏行氏が食道癌にて急逝されました。2009年から10年間会長としてHPの創設や研修旅行の企画等全員が積極参加で楽しく中国語を学ぶ基盤作りに尽力されました。心よりご冥福をお祈りいたします。コロナもやや終息の兆しが見え始めました。もう少しの辛抱ですね。頑張りましょう。

HP担当野浦氏の重慶赴任に伴い一部担当変更があります。

役員体制(クラス幹事一部変更)

会長	小野寺登		
副会長	久保田利昌		
会計	薄井則久		
会計監査	烏澤光代		
月曜クラス	山田慎二(幹事)	山田慎二(兼会計)	*現在休講中
火曜クラス	杉山宜之(幹事)	清田美智子(会計)	
水曜クラス	蜂屋和男(幹事)	泉 初代(会計)	
木曜クラス	石崎正一(幹事)	石崎正一(兼会計)	
HP担当	久保田利昌(新)	*野浦公介(adviser)	野浦先生駐在重慶

(久保田 利昌・記)

昨年11月23日にご逝去された渡邊前会長と一緒によく旅行をされた薄井さんよりその楽しいかった思い出を、また交流の有った中国在住の邹进さん 赵英さんからのお悔やみのメールを薄井さん経由で頂きました。

渡邊さんを偲んで

星期二班 薄井則久

「中国語を学ぶ会」の前会長であった渡邊敏行さんが、令和3年11月23日ご逝去されました。

享年82歳でした。

私が中国語を学ぶ会に入会した2009年4月は、渡邊さんが当会の会長に就任された時だった。以来12年、中国語の学習、餃子を作る会、研修旅行と銘打った中国・台湾旅行、渡邊さんと二人で行った中国・江南の旅と、渡邊さんとは楽しい思い出をたくさん作ることが出来ました。

ここで渡邊さんとの旅行にまつわる思い出を綴ることで、故人を偲びたいと思います。

私は当会に入会する2年前の2007年に、初めて中国旅行に行きました。中国は「三国志」や「項羽と劉邦」、テレビ特番のシルクロードなど好んで読んだり、見ていた私にとって憧れの国だった。2007年の旅は「悠久の中国、西安・北京4泊5日の旅」という旅だったが、西安の兵馬坑や北京郊外の万里の長城の観光等々、とても満足する内容の旅だった。その旅で音楽のような響きの中国語と、4000年という悠久の歴史を持つ中国に魅せられた。

帰国後、当会を知って2008年入会を申し込んだが、初心者が私一人

だったので授業が成立せず断念したが、翌2009年5～6名の初心者が入会し、クラスが出来るとの連絡を受けて入会した。

入会した2年目の2010年渡邊さん(以下、会長名を省略)の発案で、「中国語学ぶ会研修旅行」と銘打って中国福建省「厦門と客家土樓の旅」を実施した。

この旅行は、渡邊さんと中国の現地旅行社の邹进(zoujin)という担当者とはメール交換を頻繁に行い、単なる観光旅行でなく、日本語を学ぶ学生との交流会をするコースを組んだ旅行であった。

学ぶ会の皆さんがせっかく中国語を習っているのだから、カタコトでも良いから中国語で会話をしようと渡邊さんが企画したもので、その企画にとっても関心を持った。

厦門・客家土樓の旅では、武夷山空港で軍用機を撮影したら兵士に写真を消せ！と指示されたり、冷えたビールが無くてバケツに氷を入れて冷やして飲んだり、スリル満点の6人乗り竹筏での溪流下り、未舗装の山道を延々と登って客家土樓を見に行くなどの観光は、好奇心旺盛な私にとってとても魅力のある旅だった。

4日目には厦門にある「厦門理工学院」の日本語を学ぶ学生さんとの交流会を行い、中国語を習い始めて1年目の私が女子学生さんの前で緊張しながら中国語で自己紹介をした。自己紹介後は学生さんと1対1の交流会を実施したが、私に中国語の会話が出来ない訳もなく、会話相手の周甜甜(zhoutiantian)

という大学3年生の女子学生は日本語が流暢だったので、私たちは終始日本語での会話での交流会になってしまった。

交流会後は学生さんに学院内を案内して頂き、交流会のお礼に学生さ



んが利用しているというレストランに場所を移し、アルコールも入っての(学生さんは飲みません)交流会となった。

5日目は福建省南東部の山間にある、客家の人々による独特の建築物土楼の一日観光をした。

6日目は帰国日となり帰国便が午後2時過ぎということで、午前中廈門の目と鼻の先にある金門島の観光遊覧をすることになった。この船上で蘇州在住の趙英(zhaoying)という女性にカメラのシャッターを押してあげた縁で、学ぶ会の仲間たちを紹介し知り合いとなった。これまでに行った海外旅行は、安全や言葉に対する不安感からツアー旅行ばかりだったが、今回の研修旅行で渡邊さんの企画するオーダーメイド旅行の面白さを堪能した。

帰国後暫くして、翌年2011年2回目の研修旅行が話題になり、渡邊さんから「薄井君、次回はどんな所に行きたいのか？」と希望を聞かれたので、山西省の平遥古城と懸空寺、大同の雲崗石窟に行って見たいと要望した。渡邊さんは前年と同じく現地旅行社の邹进と何度も連絡を取り合って「河南・山西省の世界遺産を巡る旅」という胸ふくらむようなコースを組んでくれた。

ところが、2011年3月11日未曾有の大地震・東日本大地震が発生した。旅行中止もよぎったが、既に航空券や現地旅行社とも契約済みなので旅行行きを決定した。

7泊8日と言う長い日程の旅だったが、北京から大同迄の7日間は桂林から来た邹进と一緒に帯同してくれた。

この2011年の研修旅行は、会報「你好33号」に旅行記として私の駄文を掲載したのでここでは割愛しますが、一言、とても満足した希望以上の旅でした。



2012年の3回目研修旅行は「桂林・広州の旅」というコースに決まった。

この旅行でもオーダーメイド旅行ならではの面白さを味わった。その一つは桂林の漓江下りでの途中で兴坪という漁村で下船をし、そこで日本人の林さんと言う方が営む老寨山旅館を訪れた。ツアー旅行では組み入れないようなコースである。

中国人の奥さんの手料理を食べ、裏山で採ってきた新鮮なライチをお腹いっぱい食べた。

桂林から100km離れた龍勝棚田では、人間業とは思えない山の斜面を切り開いた棚田に圧巻され、世界遺産になってまだ5年目の開平市にある碉楼(diaolou)群や赤坎古鎮を観て廻った。

旅の最終日には思いもよらない再会があった。それは2010年の旅行で厦門理工学院との交流会を行なった時の会話相手だった周甜甜が、広州まで約130kmある距離を列車に乗って、我々学ぶ会の仲間会いに来てくれた心情が嬉しかった。仲間と一緒に夕食を食べた後、渡邊さんと李老師に促されて広州駅まで送って行った。

2012 年は桂林・広州の研修旅行から帰った2ヶ月後、渡邊さんから「上海・江南水郷の旅8日間」に行かないか？と誘われたので二つ返事で承諾した。今回はオーダーメイド旅行でなくツアー旅行だったが、旅行代金が 38,000 円で宿泊ホテルは5つ星と考えられないような格安ツアーだった。しかしこの格安ツアーには訳があった。それは毎日お土産物産店に寄り、組まれたオプションツアーは 4000 円と割高。しかし、旅慣れた渡邊さんが一緒なので別の楽しみ方を教わった。1つは、お土産屋に入らずガイドに出発時間を聞いてそれまで周辺を散策する方法。蘇州の寒山寺では寺の一室にツアー仲間が入れられ、扉を閉めて掛け軸など販売されていたが、渡邊さんと私は入室せず寒山寺周辺を 1 時間ほど散策した。

2 つ目はホテルに入ったら食事をせず街に出て食べる(ガイドには外出を承諾してもらう)この方法で蘇州では、2010 年金門島で知り合った蘇州在住の趙英と連絡を取り合って(旅行出発前にメールで蘇州のホテルと到着時間を知らせていた)、彼女の運転する車で



食事処を案内され、これぞ 中国！！というど派手な装飾がされた室内とビートの効いた音楽が流れるバーで再会の会話が弾んだ

又、上海では渡邊さんの古い知人だという方の招待で、中国で一番美味しい料理の一つである北京ダックの老舗・全聚徳で北京ダックを食し、食後は陝西南路という住宅街にあるアパートの一室にある酒場に連れられて行った。そこには各国(中国・韓国・イギリス・ドイツ等々)の

老若男女がお酒を酌み交わし談笑している様子を見て、上海という街のインターナショナルを感じた。

食道楽の渡邊さんにはこの旅行では、西塘で臭豆腐、杭州では上海蟹（昼食時別注文して、ツアー仲間の視線を感じながら食べた）、紹興では紹興酒5年・10年・15年物の試飲、と格安ツアーでは考えられないようなプラス・アルファの楽しみ方を教わった。

これらは全て渡邊さんの豊富な旅経験と、人脈から出来ることで貴重な体験をさせて貰った。

中国への研修旅行は2012年の桂林・広州の旅で途絶えてしまった。研修旅行は台湾に旅先を変えて、2014年には台湾西部方面と台湾最南端ガランビ岬を訪れた。

又、渡邊さんへ平溪という町で天燈(ランタン)を打ち上げたいので、コースに組んで欲しいとお願いをし実現してもらった。2018年は「台湾一周ローカル鉄道の旅」で台湾を時計回りに三泊四日の旅をした。台湾の旅は久保田さんが全て手配し、ガイドは簡さんという80歳になる超ベテランのガイドさんで名所・旧跡のガイドも勿論のこと、台湾料理についても美味しさを堪能出来た旅だった。

コース立案と現地との調整、航空券の手配と全て渡邊さんから久保田さんに代わられたが、研修旅行の目的の一つである中国語での交流会を組み入れる日程は継続された。渡邊さんが言う「中国語を勉強しているなら、片言でも中国語で会話出来るように」が、台湾に旅先が代わっても現地学生さんとの交流会は引き継がれ、ネイティブな中国語を聞き異国の友人も出来るという、単なる観光旅行でないひと味もふた味も違う旅の面白さを知った。

渡邊さんの企画した研修旅行からオーダーメイド旅行の面白さを知り、膨大な国土と世界遺産が55件がある中国の旅はとても魅力的である。2020年2月に端を発したコロナウイルス禍で海外旅行が制限され、まだまだ訪ねたかった数々の中国遺産を訪れる旅は途絶えてしまった感がある。でも渡邊さんとご一緒した中国・台湾の旅は私の定年退職後の人生に色濃く刻まれました。

11月26日渡邊さん宅を弔問し最後のお別れをして来ましたが、渡邊さんの書斎には1979年から渡邊さんが渡航した国々の一覧が掲示されていました。その回数が91回と奥様から聞き、好きな旅行を数多く出来た渡邊さんは、素敵な人生を歩まれたと羨ましく思いました。下記に掲載した追悼文は本記事の中で紹介した、桂林在住で中国旅行の手配をして頂いた邹进さんと蘇州在住の赵英さんが、渡邊さんの訃報をととても残念に思い弔意文を寄せてくれました。。

【桂林在住・邹进女士】

这个时候我不能用日语表达我此刻的心情，我想使用我的母语表达。我和渡边さん认识已经快15年了，还记得那个时候我刚去办公室做日语外联，他带领中国を学ぶ会的大家来中国旅游，刚开始由于我刚刚接触这部分工作，所以回复邮件和处理设计日程并不熟练，可是那个时候渡边さん总是给我鼓励和宽容，我非常感谢他。后来我离开了原来的公司，他也一直支持我，非常感激他。



我们网站还一直用他的照片,也使用了在汉语学习班的大家的照片,再次再次表示感谢。

新冠病毒发生前的 2020 年以前,一直想着什么时候又能和渡边さん见面,没想到那次渡边さん桂林之行竟是和他永别。

我从薄井さん第一次知道渡边さん去世的消息,心里感到很难过。

感谢上天让作为中国人的我和渡边先生相识,我会一直怀念他这个やさしい的日本老爷子。

愿天堂没有病痛,希望他在另外一个世界能没有病痛,并且开心快乐。

2021年11月26日

【蘇州在住・赵瑛女士】

听到渡边先生去世的消息,我感到很遗憾。虽然已经是 82 岁高龄了,但是看到你发来的以前在苏州拍的合影,忽然又想起了当时的情景。生老病死是自然规律,希望活着的每一天都过得值得。天气渐冷,请保重身体~

2021年11月25日



心より渡邊さんのご冥福をお祈りいたします。

合掌

李老師・蜂屋さんからの投稿です。老師は“サラリーマン川柳の中國語訳”、蜂屋さんは“中國語のなぞなぞ”です。言葉の裏にあるニュアンスを踏まえての表現を楽しんでください。

日本上班族的心声

李 晶明 老師

前几天看到报纸上公布的了上班族川柳大赛佳作。川柳是日本诗的一种，以口语为主，比较自由，经常表达作者的心情或者当下的时事。

下面我们来看看 Top3

01

会社へは	领导说
来るなと上司	别来公司了
行けと妻	妻子说快滚

02

十万円	十万日元
見る事もなく	还没看到
妻のもと	就被妻子没收

03 是

リモートで	运程
便利な言葉	最好用的话
聞こえません	听不清楚

这三个作品都说的是在疫情下，在家办公，视频会议等新的工作方式和新的生活方式。

漢字を覚えるのに最適、なぜなぞ！

水曜クラス 蜂屋和男

猜猜什么字

① jiānzuǐbā huángmáo yī chīxiǎochóng héxiǎomǐ húnshēnshàngxià máoróngróng shuōqǐhuà lái jiāojiāojiāo 尖嘴巴，黄毛衣，吃小虫和小米，浑身上下毛茸茸，说起话来唧唧唧。

回答

② hónggōngjī lǜwěibā yītóuzāizàidìdìxià 红公鸡，绿尾巴，一头栽在地底下。

回答

③ yìzhixiǎochóngwēngwēngwēng fēiláifēiqùhuācóngzhōng yòuchuānhuāyòuchuānmì rénrenkuātā ài láodòng 一只小虫嗡嗡嗡，飞来飞去花丛中，又传花又传密，人人夸它爱劳动。

回答

④ shēnchuānlǜyī zuǐbā dà chāngqǐgē lái gūgūgū zǒuqǐlù lái tiàotiàotiào néngchīhài chóng yòngchù dà 身穿绿衣，嘴巴大，唱起歌来呱呱呱。走起路来跳跳跳。能吃害虫用处大。

回答

- ⑤ “妈妈, 什么东西越洗越脏?” 回答
- ⑥ “你跟谁不能说, 再见?” 回答
- ⑦ 一边有水, 一边干? 回答
- ⑧ 上面正差一笔, 下面少丢一笔。 回答
- ⑨ 两排树并排站, 树木连成一大片。 回答
- ⑩ 手边有三口, 木字在下头。 回答
- ⑪ 画时圆, 写时方形, 有它暖, 没它凉。 回答
- ⑫ 远着是学, 近着不是学, 学上添两点。 回答

答え

- ① お口はとんがり、黄色いセーター、小さな虫とアワ食べて、どこもかしこもフカ
フカで、おしゃべりするとチィチィチィ 答え ひよこ 幼鸟

- ② まっ赤な雄鶏、緑の尻尾、頭は地面に植わっている

答え 中国萝卜

* 中国大根⇒日本の大根と異なる系統なので色や形、味なども違う⇒いろいろな種類がある中で、代表的な物は红心萝卜⇒甘い味がするものが多く、バサバサとした食感がある

* 红心萝卜⇒根は球形で上部が緑色を帯び、内部は鮮やかな虹色をしている

- ③ 小さな虫です、ブンブン、お花の中を飛び回り、花粉や蜜を届けます⇒働き者だとほめられる

答え 蜂蜜

④ 緑の服に大きな口、歌を歌えばケロケロ、道を歩けばピョンピョン、害虫食べて役に立つ

答え 青蛙

⑤ ママ、洗えば洗うほど汚くなる物は？

答え 水

⑥ 「また会いましょう」って言うてはいけない人は誰？

答え 医生

⑦ 片方には「水」が有り、片方には「干」乾いている

答え 汗水

⑧ 上には「正」に一画足りず、下は「少」から一画取る

答え 步

⑨ 二列の木、並んでいる、樹木がずっと連なっている

答え 林

⑩ 手辺に三つの口、木の字が下にある

答え 操

⑪ 描くと丸く、書くと四角、あれば暖か、なければ寒い

答え 白

⑫ 遠くで見ると「字」で、近くで見ると「字」でない。

字の上に点が二つ付いてある

答え 学

2021.11.1

会員からの寄稿;日頃の学習成果?!

早上的习惯

星期三班 大野祝宣

我为了健康，早上养成了一个习惯，每天早上在我家附近散一个小时到一个小时二十分钟左右步。散步路线是冈崎田地，伊势原，稻田和绿之丘等。十二月莫一天散步路线是绿之丘。在路线途中的公园

里有退休老人们在高兴地打着门球。公园里的水杉叶和银杏叶也呈现着红和黄色，这些树叶被风吹落下来了。

在公园的椅子上休息五分钟后，向北边的山冈走。爬上坡路到丁字路口了，尽头的丁字路口向左拐（西拐）这回是比较平缓的坡路。途中看着左边远方的水杉的公园一直往前走，右边有高尔夫练习场，再在前方右边远远地看见变成棕色的大山。再往西方向走就在正面极远处可以望见有顶峰积雪的富士山。这天远远看得见朦胧的这座山了。再往前一直走就到了住宅区。顺着住宅区的路往前走不远就回到出发点。今天的散步就在这里结束。

因受到新型冠状病毒肺炎感染大施淫威的影响，2020年7月和8月的东京奥运会和东京残疾人奥运会也延期至明年7月和8月，现在也不能随意外出只有盼望病毒早日停息而且恢复到正常。

2020年12月26日 写

《那是大约 60 年前的某一天的话》

星期二班 小野寺 登

我在上高中时的一天，没赶上平时坐的公交车。

可是，公交车一个小时只有一班。坐下一辆车的话，肯定会迟到的。

从我家到公共汽车站差不多 4 公里，我每天都骑自行车来。

于是，我匆忙决定了骑自行车去学校。那里离学校不但有大概 20 公里，而且路面是碎石路。

那对我来说是第一次的尝试，不过我对自己说只能这么做这么做就出发了。

去路因为平缓的下坡，比较容易。

我想超过公交车，拼命地踏自行车脚踏子了。

由于对向车卷起沙尘，把脸弄得发涩，黑色的制服也变白了。不过我不介意脏。

坐公交车到学校必须在车站换车，如果去自行车的话，一下子就到得了学校。

结果我比坐公交车的同学还早学校了。

我对另外的同学们假装成和平时一样坐公交车来的。

因为回去的路是上坡，一下课就回家去，但是在离开街里后自行车的轮胎放炮了。

“多么晦气啊！”这附近没有修理店，并且我只有数白日元。

没办法，我推着自行车走着回去了。

当时，当然没有手机，只有有线广播电话。

然而，因为这个电话有被邻居听见的可能，我可不敢打电话。

太阳下山，天渐渐黑下来了。

断断续续地看见了民房的灯火。

我一想到他们现在一边看电视一边吃完饭，我忽然我感到饿极了。

我依靠着星光，默默地向山的方向走。

到我家都晚上 10 点多了。

我父亲在大门口路上等着。

我都做好了被吃耳光的准备，但是他说了一句话
“啊，回来了吗？”

这天对我是来说既是很长的而且是难忘的日子。

结束

十二月七号星期二我的一天

星期二班 薄井则久

我早上七点起床,七点半左右吃早饭。早饭后,我出去散一个小时步。

回家后从九点到十点一边喝咖啡一边看报纸。

十一点去大儿子的网球店帮忙开店。

中午十二点半左右吃午饭,吃完午饭后去平冢体育馆。

在体育馆从下午一点半开始到三点钟结束我打太极拳。

下午四点回家后稍微休息会,然后大约一个小时预习晚上的课。

下午六点一刻从家里出去。

从我家到崇善公民馆开车需要二十分钟左右。

在崇善公民馆从下午七点到八点半学汉语。

我下了课马上就回家。回家后不马上吃晚饭,我先泡澡然后吃晚饭,所以星期二晚饭吃得很晚。一边吃饭的同时看了大约一个小时的电视。

我晚上十一点半左右睡觉。

对我来说星期二是一周里最忙的一天。

介绍退休后的一天

星期一班 久保田利昌

去打高尔夫球以外的平时，我大约七点钟睡醒，可是就不起床。因为不来找麻烦女儿和孙女儿的准备上班和上课。

到七点三刻左右我起床就打招呼孙女儿“你去吧！小心点儿”。星期二以外的八点一刻左右，我每天都倒垃圾。倒垃圾是现在我的一个重要工作的。那工作后，从八点半到九点半我看着报纸吃早饭。吃完了饭和看报纸后，启动电脑和查邮件。十点二十分左右，我去散步。这个散步要两个小时或两个小时半。那个散步途中的三十四十分钟，我顺便去咖啡店。在咖啡店里我看着书喝咖啡。十二点半左右回家，大概一点钟吃午饭。

吃午饭后，我再看电脑和看书。有上课的天，一个小时左右学汉语。六点半或七点左右，我们吃晚饭。吃完饭后，大概看电视，看电脑和看书。十二点左右，我上二楼和躺在床上看书。所以大概一点钟我睡觉。

去打高尔夫球的天，五点半左右起床。大概七点一刻，我开车去在语御殿场里的高尔夫球场。回家后的行动是通常天一样的。周末的天，八点半左右起床。打垃圾以外，我的行动也是一样。但是，有去打网球的天，从五点到七点去综合公园打网球。退休后，周一次还是两次从上午十点到下午一点，我做志愿者。不过我的生活是基本每天都是期天的。

上記三稿は火曜クラス授業の課題として”各自の一日を紹介”があり各自が文章を作成し発表しました。同じ一日でも、”十年前の・或る特定の日の・退職後の日々の”一日をそれぞれ紹介しています。一つのテーマでも三者三様の捉え方が有りますね。

編集後記；

今年度も何とか年度末の3月中に”你好“の発行ができました。寄稿して頂きました李老師・会員の皆さまには大変感謝しています。現在の”你好“の体裁は昨年亡くなられた渡邊前会長が就任された2009年度の第32号からスタートしました。それ以前のタブロイド判から小冊子に変わりました。毎号読み応えのある編集をされていました。2019年渡邊さんの会長退任及び退会に伴い急遽”你好“発行の担当となり、今回3回目となりました。相変わらず原稿が集まらず苦勞しております。”你好“の歴史は20年以上です。この歴史は当会が継続する限り発行をしていきたいと思っています。是非、会員各位は”日頃の雑感・授業での作文・旅行記“等々肩ひじ張らずに気軽に投稿願います。今年は、”中国語を学ぶ会“創立50年の年です。この2年以上コロナの影響で全ての行事は中止されてますが、次の50年に向け中国語を学ぶ会の再スタートの1年にしていきたいと思ひます。

2022年3月10

久保田 利昌